

研修参加報告書

令和 8 年 7 月 30 日

会 派 名 無 会 派
会派代表者 津田 貴史

(参加者：津田 貴史)

研修参加の結果について、次のとおり報告します。

年 月 日	令和 8 年 7 月 27 日(月)～28 日(火)
研修時間	7 月 27 日 13:15 ～16:35 28 日 9:00 ～12:20
研修場所	JIAM(全国市町村国際文化研修所：滋賀県大津市)
研修内容	令和8年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー [講義] 泉大津市発 農と食と健康を守るためのサプライチェーンの再構築 講師;南出 賢一氏(大阪府泉大津市 市長) [講義] 生成 AI は議会をどう変えるか？ ～住民参加と政策力強化の観点から～ 講師;山内 健輔氏(早稲田大学デモクラシー創造研究所 招聘研究員) [講義] 公民連携で地域を再生する ～オガールが実践してきた協働のデザイン～ 講師;岡崎 正信氏(株式会社オガール 代表取締役) [講義] 政策議会の一般質問 講師;土山 希美枝氏(法政大学法学部政治学科 教授)

研修参加報告書

■目的

国内各地の様々な行政課題について学び、施策を提案・実施するために、各分野で活躍される方のご講演を聴講し、今後のわがまちの未来や地方行政に求められる役割について多角的に学び、江南市議会での議会改革における諸課題について考える。

■内容

7月27日(月)・・初日

【講義;泉大津市発 農と食と健康を守るためのサプライチェーンの再構築】

13:15~14:45

《 心に残った言葉 》

・『小中学生の身体の1/3は給食でできている』は 給食の大切さを語る至言

《 すごいと思った点 》

・食による未病予防を図るための健康づくり推進条例の制定

特にマタニティ応援 PJT(妊娠中の体調不良を軽減する)取組として

妊婦さんに金芽米を支給することで、母子の医療費が下がったという事実。

※ 金芽米:玄米の栄養価の高い「亜糊粉層」と「胚芽の基底部(金芽)」を残

した米で、東洋ライス(株)が特許を持つ「BG 精米製法」で精米された米

・安全安心な食糧を安定して確保するために、15市町村との農業連携協定を結び、市独自のサプライチェーンを構築したこと。

・市長としてなぜこれほどの食に対する思い入れと熱量を持って市政に取り組んだのだろうかという疑問がついて回ったが出自を調べて納得した。

→大学卒業後、マルハニチロ(2年)→南出製粉(2年)→

→市議会議員(2期)→泉大津市長(2期目)

【講義;生成 AI は議会をどう変えるか? ~住民参加と政策力強化の観点から~】

15:05~16:35

《 興味深かったこと 》

・ブロードリスニング手法 (広く意見を聴き、AI で可視化、意思決定に活用)

抽出) テキストから個別意見を識別

クラスタリング) 類似意見をグループ化

ラベリング) 各クラスタの要約名を生成

・AI で政策検討ができること

事実の収集) RAG で行政計画・会議録を横断し収集

原因・現状整理) SWOT 分析で仮説を構造化

異なる立場から検討) ペルソナで影響や利害をシミュレーション

論点と選択肢の提示) ロジックツリーでの可視化

・クロス SWOT 分析という分析手法

内部要因⇄外部要因 * プラス要因⇄マイナス要因 の掛け合わせで、
強み、弱みと機会、脅威に分類できる。

→ 一般質問を通じての政策提案を行う際にこうした分析・検討をベースにすることで、提案の必然性を浮き立たせることができると思われる。

【 交流会 】

17:30～

当該研修参加者 195 名

35 の都道府県から、72 市 39 町 1 村の長・議員が参加(市・町長は 2 名)

7 月 28 日(火)・・ 最終日

【 講義;公民連携で地域を再生する～オガールが実践してきた協働のデザイン～】

9:00～10:30

《 主旨 》

公有地における公民連携の実践事例の紹介から PJT 成功の秘訣を学ぶもので、
【自分の町の価値を維持し、上げる】は心にとどめおくべき Key sentence

《 驚いた点 》

・新しい“公共”の形成手法

事例として紹介された“廃小学校を負の資産と位置づけるのではなく、
場所（校庭）と空間（教室）を生かした施設に生まれ変わらせるという考え方は、わが町で公共施設の再構築を図る上で取り込みたい手法と思われた。

・造らず借りるという運営

公共施設を自治体の資産として持つのではなく、使用料を払うという考え方で
新学校給食センターの PFI 方式とは異なる。どんな方式がわが町にあってい
るのかは、当時の可能性調査結果などから再考証してみたいと思った。

《 当市に当てはめ、試行してみたい事例 》

・藤里小と宮田小の統合で残る校舎と校庭を新たな価値ある施設に Re-Born すること

・中央保育園に移ったわかき園の施設・土地を、近接の音楽寺の価値創造につ
なげられるような使い方とすること

【講義;政策議会の一般質問】

10:50～12:20

一般質問はなぜ「機能していない」か、から始まり、機能する良い一般質問の定義
付けをした上で、政策形成につなげるという話の流れであった。

《 当市議会で、実践してみたいアクティビティ 》

- ・複数の議員が同じテーマについて異なる論点や視点で質問を行う議員間連携
- ・通告書ベースで全員参加の一般質問(磨き上げ)検討会議
- ・議員が選ぶ「今議会のベスト一般質問」

《 一般質問を作成する上で留意する点 》

- ・「事実」-「分析」-「主張」の構成と、論点整理
- ・「監査機能」と「政策提案機能」の峻別

《 情報収集する上で参考になった手法 》

- ・基礎情報の参照先:e-Stat, WARP, Cinii, D-File

■所感

昨年受けた研修『議会改革を考える』ではレベルの高い政策提案をするために ChatGPT の支援で、効率化を図ると同時に広範囲な情報から適切な政策案を模索するというものだった。

今回はもう一歩踏み込んで情報収集～分析に AI を活用するというものであり、2回の研修を経て一般質問のレベル“分析～論理構成”が上がると感じた（使いこなせれば…という前提）

参加者は西日本の方が6割程度見えたが愛知県内の方が20名以上参加されていた。交流会で近隣他市町の議会運営などを聞き、他市町の状況に目を向ける良い契機となったので、今後は前例にとらわれず広い視野で諸課題に取り組んでいきたいと思う。

事例を持ち帰り、市職員とともに、江南市が持つ課題の解決に向けた取組を積極的に実施していく必要があることを実感した。